

(基本方針Ⅰ)後期基本計画の施策・取組・成果指標に関する前回意見への対応整理表

資料1

NO.	施策体系	発言者	意見概要	計画書への記載	計画書への反映の考え方
1	1(1)農業の再開	前司委員	農地の担い手とマッチング・・と書いてあるが、そもそも相続をして帰ってくる気もない、貸すこともない、とりあえず売りたい、持っていたくないっていう人が来て買ってくれと言ってくる。見たところ農転できない地域もあって、農家として耕作はできないが、事業はやっているからその事業に絡めて購入しようとしても結構、農転できない地域があるので、何かそういった方々の「マッチング」がうまくとれているのかどうか。	あり	目指す姿と取組(p5)農地としての利用による作付面積の拡大を目指し、地域計画に基づく中間管理機構によるマッチングや営農再開、担い手の育成支援を図っていきます。
2	1(2)林業の再開・漁業の再開	鈴木委員	竹林が非常に山の中に入り込んで、避難しているうちになかった竹が自生して、すごいことになっている場所が結構ある。竹の整備・活用もう少し考えて取り組んだ方がいいのではないかな。	あり	山林に入り込んでいる竹の伐採等事業は「里山再生事業」や県の「ふくしま森林再生事業」行っています。しかし、竹林の整備など活用は考えていません。
3	1(2)林業の再開・漁業の再開	石川委員	今獲れている魚は、大概豊洲方面に出荷しているようで、もっと浪江町で地場のものを普及させたいと思う。相馬の方の業者から申し込んできているというふうな話も聞いたので、できる限り扱ってもらえればありがたい。	あり	目指す姿と取組(p7)3つめに「請戸ものブランドを町内外に情報発信～」と記載しました。
4	1(2)林業の再開・漁業の再開	小林委員	林業におけるICT導入のようなところはないのだろうか。今後の町人口がどこまで伸びていけるのかわからない中、人材確保という言葉が沢山並んでいて心配になる。	あり	目指す姿と取組(p7)1つめに「スマート林業の新しい技術の活用」と記載しました。
5	1(3)魅力ある地場産品づくりと販売力強化	関谷委員長	地場商品の他地域での販路拡大ではなく、この地域での販路拡大すべきというところ。そういった記載はどこにもないようだ。この点に関してぜひ、計画書本文に直接でもいいし、販路拡大なので施策1の(3)でもいいかもしれないが、加筆いただければと思う。	あり	目指す姿と取組(p9)3つめに「地場産品を地域内で積極的に活用」と記載しました。
6	1(3)魅力ある地場産品づくりと販売力強化	関谷委員長	町のブランドイメージが一定の回復が測られたものと認識されているが、福島県産の食品はブランドイメージが一時的にマイナスになって、その後回復してきたけれども、もとより「浪江町ブランド」があったのかと振りかえったときに、実はそれ程有名ではなかったとすれば、そこから作っていく必要がある・・ということではないか。福島県産としては回復したけれども、請戸ものといった、浪江町の産品が売れていく段階までは至っていない。そこを引き続き伸ばしていくところの書き方だと思う。もともと「浪江町」とか「請戸」に対するマイナスイメージというのはほとんど無いと思っていて、はじめから福島県産という言葉に対するマイナスイメージがこの風評に関する議論なのかと思う。書き方をもう少し工夫していただければ、違和感はなくなると思った。	あり	現況と課題(p8)1つ目に風評被害払拭に向けた取組状況を記載しました。浪江町の産品の販売力強化については、現況と課題(p8)4つめで「今後ともさらなる町の魅力の発信強化が必要です」と記載しています。
7	1(4)鳥獣被害対策	半谷委員・関谷委員長	鳥獣被害件数に関しては件数で追ってしまうと米とか、土地利用型の作物っていうのは被害金額が見かけより少なくなってしまう。そこをどうにか調整していく必要があると思う。件数上は減少でも金額は上がったとか、金額は下がっても被害面積が増えているとか、そういう話になってきてしまっただけで設定は難しいかもしれない。	あり	成果指標に「有害鳥獣被害額(農業)」を追加しました。
8				あり	住宅は、屋根裏等に鳥獣が侵入した場合の駆除のため、フン等の清掃にとどまり、ほぼ被害額が生じていないため、成果指標は変更しません。
9	2(1)商工業の振興	関谷委員長	成果指標として町内事業数増とするなら、施策(アウトカム)(ア町内での事業再開・新規開業・継続経営への支援)は変えた方がいいのではないかな。本文の方では別に問題ないのか。	あり	事業再開だけでなく、創業も含めた記載となっています。
10	2(1)商工業の振興	関谷委員長	復興初期段階としては再開というのが重要だったのは間違いないと思うが、今の段階は両方ではないかと思うのでその辺りも再度整理してもらいたい。	あり	
11	2(1)商工業の振興	前司委員	夜間交通事業者への支援が消えるようだが、実際、町内での利用状況を見ていて、もう少し遅くまでやってくればありがたいというものはある。やはり駅前の方もお店が結構増えてきているので、もう少し遅くまでやってくれるといいっていうのが、町民目線というか飲食店目線でも、あるかなと思う。	あり	Ⅲ2(3)交通網の充実(p40～41)において、持続可能な地域公共交通の充実に向けて取り組むとともに、成果指標として夜間の公共交通手段の確保を設定しています。
12	2(1)商工業の振興	関谷委員長	夜間の移動手段については引き続き課題であるとして、その解消に取り組んでいくということは書いておいてもいいのではないだろうか。引き続き課題は課題であって、まだ一定のニーズがあるということを残しておいた方がいいと思う。	あり	
13	2(2)企業誘致の推進	前司委員	企業誘致を進めるのには、広大な土地が必要になるが実際町内には探しても無い。農地はあるが、雑種地というか開発適地というのが無いのではないかな。以前、大熊町とは産業団地貸与の相談をしたことはあるが、結構ハードルが高い。そういった要件も見直す必要があるのではないかな。	あり	産業適地調査を行い、企業誘致に最適と思われる場所の造成、企業誘致活動を進めているため、現況と課題(p14)1つ目に整備検討状況を記載しました。
14	2(2)企業誘致の推進	関谷委員長	支援制度の拡充と要件緩和等を促進のための条件整備のようなところは明示していただいた方がいいと思う。本文でもどこかに入れておいて欲しい。	あり	目指す姿と取組(p15)1つめに国・県等の各種復興関連支援制度活用による積極的な企業誘致～、6つめの「町独自の企業立地・雇用創出支援により～」で記載しております。
15	2(2)企業誘致の推進	前司委員	結構浪江町には最先端のものが入ってきているが、南側の町を見てみると、結構バラバラに企業が進出してしまっ、あまりまとまりも感じない。やはり浪江町は町のビジョンをきっちり持ったうえで企業誘致を進めていただければと思った。	あり	福島水素エネルギー研究フィールドや福島高度集材製造センター、福島国際教育研究機構などが立地していることを町の優位性として、前面に出して活動しています。町の産業集積の特徴について、現状と課題(p14)、2つめに「先進施設や研究機関が集積する知と産業技術の先端拠点が形成されはじめています。」を記載しました。
16	2(2)企業誘致の推進	前司委員	檜葉町さんみたいに誘致できたのに倒産に至ったケースもあるので、その辺もきちんと調べながらやっていく方がいいと思う。	なし	企業誘致にあたっては、帝国データバンクの情報を活用し、財務状況等を調査したうえでファーストコンタクトを行っており、業種についても将来の成長産業として期待される分野であることなどを考慮して推進しています。
17	2(2)企業誘致の推進	関谷委員長	F-REIが動き出した・・の記載があるが、F-REIにやってもらうことなのか、浪江町がやることなのか、何かそこに入ってくる事業者がすることなのか、明確ではないような気がする。浪江町としてどう関連産業を拡大していくかということなので、はっきり強めに書いていただいた方がいいと思った。	あり	目指す姿と取組(p15)に2つめ、3つめで町が取組が明確になるよう全体的に加筆・修正しました。
18	2(2)企業誘致の推進	関谷委員長	アウトプットが滑走路の利用回数になっているので、やや違和感もある。これから実証事業だけ増やしても意味がない。この立地事業者数とか関連する産業とかそういうのを増やすところだと思う。成果指標が滑走路の利用回数というのは少々違うかなと思う。	あり	新規立地の前段階として実証から入るというルートもあると考えており、間口を広げておくことは重要だと考えています。成果指標「RTF浪江滑走路の利用回数」については、削除します。
19	2(2)企業誘致の推進	馬場委員	現案はF-REIとイノベ機構絡みの内容が多いが、もう少し震災以前からの、浪江町に工業団地を作ったので首都圏など各方面からぜひ来てくださってというような原点に立ち返る必要もあるのではないかな。そのF-REIにしろ、成果自体が見えてくるのは早くて3～4年先であり、そこを見越しつつも、実証実験段階のところで企業が来てくれるのかどうかなかなかハードルが高いことだと思う。もう少し違った目線も必要なのではないかな。	あり	目指す姿と取組(p15)6つ目に「新たな産業団地の整備」を記載するとともに、7つ目を追記しました。
20	2(2)企業誘致の推進	関谷委員長	計画として次の5年、10年ということを考えると、誘致というより、おそらく基盤整備もあるが、F-REI構想が具体化していくに従って、どんな誘致をしていくのかの基盤づくりを考えると、少し落とした表現の方がいいのかもしれない。	あり	
21	2(2)企業誘致の推進	前司委員	沖縄のOISTのように、地域との融合ができないまま進んでしまうとお互い他人ごとみたいになってしまう。そういった対策の文言でも入れたほうがいいのかと思う。	あり	目指す姿と取組(p15)3つ目に「地元企業との連携強化」を記載しました。
22	2(2)企業誘致の推進	関谷委員長	交流人口増のようなことで言えば、大学とか研究室を呼んでも、企業でも同じようなことだと思うが、やはり産業誘致というのであれば少し違うかなと思うので、何を意図しているのか明確にさせていただいた方がいいと思う。	あり	目指す姿と取組(p15)4つ目で目指す姿として「新たな産業を継続的に生み出すサイクルを構築」と記載しています。また、新規立地の前段階として大学など研究機関との実証から入るというルートもあると考えており、間口を広げておくことも重要と考えています。

NO.	施策体系	発言者	意見概要	計画書への記載	計画書への反映の考え方
23	2(3)就労支援・人材育成	関谷委員長	復興をリードする人材の育成・確保という項目があるが、もう少し良い言葉はないのだろうか。ウェルビーイングのような豊かな生活を送るための、というような感じで復興のための人材というと何かものすごく特化し過ぎているように思う。	あり	目指す姿と取組(p17)5つ目を「将来の浪江町を担う人材」と記載しました。
24	2(3)就労支援・人材育成	小林委員	復興をリードする人材育成に関して、復興とは何かという疑問にもなってしまうのでもう少しわかりやすい表現の方がいいと思う。	あり	
25	2(3)就労支援・人材育成	関谷委員長	取組(アウトプット)にある、子供向け実験教室とか、研究フィールドツアーといったところは、学ぶ機会とか教育推進ということだろうし、町の復興にどうつながっていくのか。書き方が違う気がする。	あり	目指す姿と取組(p17)5つ目において記載しています。
26	2(4)観光・交流の推進	前司委員	町内の丈六公園というのがよく出てくるが、町外から見て、丈六公園と言われて魅力的なものだろうか。	あり	丈六公園を含む、町内の資源を活かした観光振興のあり方を今後考えていくため、目指す姿と取組(p19)1つ目に「観光振興のあり方や取組をまとめたビジョンの策定」を記載しました。また、目指す姿と取組(p19)3つ目に「丈六公園など観光・交流資源を有機的に結び付けた魅力発信」を記載しています。
27	2(4)観光・交流の推進	前司委員	町外から人が来たときに「見る」だけではなく、体験できるようなスポットもどんどん増やしていく必要はあると思う。ツーリズムとしても伝承ばかりでなく体験系を増やしていくといいと思う。あと「水素」に関して、折角最先端事業を誘致してきたので、一般向けというより日本各地の専門分野に特化した興味・関心のある人に向けて、もう少し尖った形でいくのもいいのではないか。	あり	目指す姿と取組(p19)4つ目に、「福島水素エネルギー研究フィールドを核とした「なみえ水素タウン構想」に基づく、水素社会実現に向けた先進的な取組みを体感できる展示紹介施設等の検討」を記載しています。
28	2(4)観光・交流の推進	関谷委員長	ストーリーが見えればより響きやすくなると思う。水素を活用したツーリズムは浪江ならではないか。	あり	
29	2(4)観光・交流の推進	岡委員	苅宿で倉庫をリフォームし、地域の集いの場として紙芝居を行っている。最近では、浪江特産の「浜の輝き」という玉ねぎの皮を使った草木染めを組み合わせるなどの工夫をしており、子どもや海外の方にも好評。身近なものでも楽しめる要素があると感じている。	あり	現状と課題(p18)1つ目に町の体験交流・観光の現状として「陶芸体験」を記載しました。また、現状と課題(p18)の4つ目には、課題として「町ならではの体験を味わえる仕組や体制づくり」と記載しています。目指す姿と取組(p19)5つ目に「農業や陶芸など体験型観光の充実」を記載しています。
30	2(4)観光・交流の推進	岡委員	紙芝居から浪江町を知っていきこうっていう活動を半年間やっている。紙芝居は、山の方面もあるし里の方面もあるし、海の方の昔話もあるので、それをいろいろ知っていただきながら浪江町を知っていただくという会なのだが、将来は紙芝居の町になればいいと思っている。	あり	
31	2(4)観光・交流の推進	関谷委員長	観光誘客としては、いろんなメニューを並べるよりはそれをどういうふうにうまくつなげていくかということだと思うので、そこを書いていただいた方がいいだろう。個々の要素はもちろん大事だが、それらをどうツーリズムにしていくなかで、周遊させるのかだと思う。	あり	目指す姿と取組(p19)4つ目に「周遊観光の強化を図ります」と記載しています。
32	2(4)観光・交流の推進	関谷委員長	復興祈念公園のことが出てこないが、祈念公園をどう道の駅に回遊させていくかが大事だと思う。それもどこかに書いてほしい。多分、伝承館から復興祈念公園を回って請戸漁港を見て道の駅なみえでお土産を買って帰るというパターンが現実的なところだと思う。	あり	
33	2(4)観光・交流の推進	鈴木委員	高瀬川溪谷は帰還困難区域にあるが、釣りなどの観光資源として魅力がある。ただ、このままだと釣った魚が食べられるまで60年はかかるとのことで、キャッチアンドリリースも考えている。鮎の放流会は子供たちが定期的に道の駅でやっている。	あり	目指す姿と取組(p19)3つ目に観光・交流資源として「高瀬川溪谷」を記載しています。
34	2(4)観光・交流の推進	関谷委員長	高瀬川溪谷については、ワークショップでも出ているのでぜひどこかに記載がほしい。釣りも観光資源として重要なのでどこかに書いてもらえればと思う。	あり	
35	2(4)観光・交流の推進	前司委員	福島いこいの村なみえや丈六公園、道の駅なみえ等を積極的に活用し、町外から大型イベント等の受け入れを行うと記載があるが、多分大型のイベントは受入れるキャパがないので厳しいのではないかと。ここの文言はもう少し精査したほうがいいと思う。	なし	目指す姿と取組(p19)に大型イベントの受入は記載しません。
36	2(4)観光・交流の推進	葛西委員	(ア)で民間事業者等と連携した復興ツーリズム等の観光周遊プランづくりというところに含まれるかもしれないが、紙芝居など、既存資源の活用だけでなく、より新しいコンテンツをみんなで創造し、作っていくところの支援とか、そういう意味合いの言葉が記載されているといいと思う。	あり	目指す姿と取組(p19)5つ目に協働の取組として「行政・団体・町民の協働による観光人材の確保・育成と観光組織体制の構築」を記載しています。
37	2(4)観光・交流の推進	小林委員	観光・交流イベントに関して、どういったイベントの来場者数をカウントするのか。	あり	主なイベントに関しては測定しており、毎月、「観光客入込数」として福島県に報告しています。
38	2(4)観光・交流の推進	関谷委員長	道の駅に限定するより、観光的には町のいろんなところに来て周遊してもらうことが必要なので素直に入込客数とした方がいい気がする。町の中での動きを指標として測った方がいい。	あり	成果指標を「道の駅来場者数」から「観光客入込数」に変更しています。
39	2(4)観光・交流の推進	前司委員	浪江で観光振興といっても、おそらく町内に観光事業者はいないと思う。つまり宿泊やバスの手配とかそういったツアーが組めないで新しく考えていくことになると思う。できれば公共交通機関を強化して、町まで来てもらって、ここで観光とか研修とかしていただいた方がいいと思う。直接お金も宿泊客も増えると思うのでそのようなことも記載していただければ。	あり	目指す姿と取組(p19)4つ目に「観光商品としての販路の調査・検討」、5つ目に「観光組織体制の構築」を記載するなど、観光集客の取組みを強化することとしています。

(基本方針Ⅱ)後期基本計画の施策・取組・成果指標に関する前回意見への対応整理表

NO.	施策体系	発言者	意見概要	計画書への記載	計画書への反映の考え方
1	1(1)子育て環境の充実	小林委員	成果指標について、各種教室の参加者数というよりは、参加して楽になったとか、子育てが楽しいと思えるようになったとか、そういったところを指標にした方がいいのではないか。	あり	成果指標を「各種教室の参加者数」から「各種教室の参加者満足度」に変更します。
2	1(1)子育て環境の充実	関谷委員長	子育てしやすいまちを目指すのであれば、参加者数ではなく、やはり参加されている方の満足度とかそういう方がいいと思う。	あり	
3	1(1)子育て環境の充実	小林委員	こども計画策定時の、親側アンケート結果を見たときに、やはり子育てしづらいという声が圧倒的に多いのが衝撃的だった。計画には直接は関係ないかもしれないが個人情報のことだったり、緊急時マニュアルのことだったり、給食の問題もあったり、そういった基本的な安全・安心の確保に対する認識も重要ではないか。	あり	こども・若者、子育て世代の基本的な安全・安心の確保の重要性を認識して、現状と課題、目指す姿と取組を記載しています。
4	1(1)子育て環境の充実	葛西委員	子育て環境の充実の(新規)こども・若者の居場所(サードプレイス)づくりについて、他はNPOと連携してとか、NPOの活動の育成というふうに書かれているが、ここだけ居場所づくりで終わっていて、町なのかNPOなのか、誰がやるのかが記載されていない。	あり	目指す姿と取組(p23)、5つ目に「民間と連携した居場所の確保や交流・活動の充実」を記載しました。
5	1(1)子育て環境の充実	小林委員	ウ保育環境の充実の中にこどものサードプレイスであると書かれているが、これはどちらかと言うと、子供側が育つためのサポートとか子供の学び、子供の保護者側の支援というよりも子供側のへのサポートというイメージがあるので、保育・子育て環境の充実の位置付けに子供の居場所づくりに関する内容が入っているのに違和感がある。	あり	
6	1(1)子育て環境の充実	小林委員	アウトカムの生きづらさを感じるこども・若者とその家庭を包括的に支援する体制の構築の成果指標で、ふれあいげんきパークの入館者数とあるが、当該施設が包括的に支援する体制のところに繋がっている実感は今のところない。もしふれあいげんきパークがそういう機能を持つのであれば、もっと、ここでそういう包括的な支援をサービスがありますっていうものを積極的に出していきたいし、そうではないのなら、以前、新聞記事に教育支援センターがこれからできるという話が載っていたので、そういうものに繋がっていく指標の方が現実的なのではないか。	あり	現状と課題(p22)1つ目に「こども・若者が心身の健康や学校生活、家庭での悩みを相談しやすい環境整備」を記載するとともに、目指す姿と取組(p23)、2つ目に「ふれあいげんきパークなどでの相談その他の援助」を記載しました。教育支援センターについては、目指す姿と取組(p23)4つ目に含まれています。
7	1(2)学校教育の充実	小林委員	成果指標の中に学校教育活動アンケートの評価とあるが、これは誰向けのアンケートなのか。その中に子供が入ってくるのか、または別の機会で子供が声を出して浪江で過ごすことに対して何か意見を述べる機会があるのかどうかということがちょっと気になっている。もう1点、学校の教員が本当に忙し過ぎて、学校ボランティアや人材バンクの活用が書いてあるが、地域の人たちも今まで学校に関わった経験がない方々も多いのでその繋ぎをもっと丁寧にしていきたいと思う。	あり	目指す姿と取組(p25)6つ目に、「学校活動に地域ボランティアの方などの協力を得る等、協働の観点を取り入れ、地域と学校の関係構築を推進します」を記載しました。
8	1(2)学校教育の充実	前司委員	学校教育の充実に関する意見の中に大学の誘致とあるが、これは大学ではなく高等専門学校などでもいいと思った。	あり	目指す姿と取組(p25)4つ目に「高等学校機関の再開や、F-REIの立地を踏まえ、多様な教育機関を誘導」と記載しました。
9	1(2)学校教育の充実	馬場委員	浪江町に住んでいる高校生は何人ぐらいいるのか。実際どこの高校に行っている人が多いのか。現状少ないのに高校再開というのはかなり難しいと思う。専門学校を浪江町に引っ張ってきた方が、その後のことを考えると現実的ではないか。実際、専門学校生が増えればアルバイトなどしてくれる人が増え、民間の業者さんも助かるのではないか。そういった視点があってもいいと思う。	あり	
10	1(2)学校教育の充実	関谷委員長	F-REIの基本スタンスとなっているPNNLをハンフォードに創った時の連携先というのが、ワシントン州立大学ともう1つ短大もあって、テクニシャンというか技術的なことを手伝える人を養成して、大学に行ける人はそこから大学に行くみたいな感じで、日本で言ったら高専だろうし、必ずしも高校にこだわらなくても、ある程度の教育機関であればいいというのはその通りかもしれない。	あり	
11	1(2)学校教育の充実	葛西委員	伝統行事等への参加機会等を充実し、町の歴史や伝統文化を次世代につなぐ活動を続けますとあるが、これを実際誰がやるのか。伝統文化はその町の地域に根づいているものなので、住民の方が主体だと思っているが、それをサポートする仕組みみたいなところが、もう少し具体化して書いていただけないか。	あり	目指す姿と取組(p25)1つ目に「保存団体等との連携・サポートのもと」を記載しました。具体的な保存団体等との連携・サポートの取組については、別ページ(p29)で記載しています。
12	1(2)学校教育の充実	関谷委員長	F-REIと連携した国内外に誇れる研究開発に触れる機会づくりとあるが、F-REIとの連携についても、小中学生の視点に立ち、学びの機会として位置付け直すことが重要であろう。子どもの興味を引き出していく内容を検討していく必要があると思う	あり	目指す姿と取組(p25)2つ目に「F-REIと連携した国内外に誇れる研究開発に触れる機会づくりなど、先進的な教育環境の充実」と記載しています。
13	2(2)文化財保護・伝統芸能の継承	葛西委員	芸能文化団体連絡協議会の方々の活動と伝統芸能の継承みたいなのは、何か全然違う場所になっていると思う。現段階では芸能芸術文化団体連絡協議会の方々の目的として多少違うと思うが、何かもう少し、この団体を管轄されている生涯学習課との対話であったり団体の人たちとの対話をして伝統芸能のサポートの部分に関わっていただけのような感じになればいいと思う。	あり	目指す姿と取組(p29)2つ目に「芸術文化団体連携協議会と保存団体等との対話やF-REIをはじめとした多様な主体の活動に伴う移住者や関係人口などの保存団体とのマッチング支援」と記載しました。
14	2(2)文化財保護・伝統芸能の継承	前司委員	文化財の保護が大切なのはわかるが、やはり未来への負担にならないように、お金をかけて展示しても集客がゼロでは意味がない。伝統芸能の継承も大事ではあるが、子供達に無理強いしてまでやることではないとも思っている。	あり	財政負担とのバランスを考慮しながら文化財の保護や伝統芸能の継承について目指す姿と取組(p29)3つ目に記載しています。
15	2(2)文化財保護・伝統芸能の継承	小林委員	デジタル化とか本にするとか、正式な浪江町史というものがあるようでないと思うが、いつでも見えるようにする工夫とか、現物が残ってなくてもきちんと伝えていくやり方も必要と思った。	あり	目指す姿と取組(p29)、2つ目「伝承用記録映像作成の支援」がご意見に対応しています。
16	3(1)震災の記憶の伝承	岡委員	語り部等と連携し被災の記憶の伝承を推進とあるが、語り部の育成も兼ねて浪江町を知るということをやっている、請戸小学校で働いている方が、自分でも震災の話を読みたいということまで来ている。双葉の伝承館でも紙芝居、語り部をさせていただいて、その後に請戸小学校まで行くという方も多い。記憶が段々薄れていく中で、こういった現場が残っているということをきちんと伝えていかなければいけないと思っている。	あり	目指す姿と取組(p31)、2つ目「町民の語り部の育成・活用により、効果的な震災伝承と防災教育を図る」がご意見に対応しています。
17	3(1)震災の記憶の伝承	関谷委員長	関心がある人であれば、伝承館だけで終わらずに請戸の方にもやって来るが、一般的な方に向けても、その辺りはもう少し広報として強化していく必要があると思う。	あり	目指す姿と取組(p31)、2つ目「国内外への情報発信に取り組みます」と記載しています。

(基本方針Ⅲ)後期基本計画の施策・取組・成果指標に関する前回意見への対応整理表

NO.	施策体系	発言者	意見概要	計画書への記載	計画書への反映の考え方
1	1(1)帰還困難区域・特定復興再生拠点区域の再生	前司委員	帰還困難区域のところで、陶芸の杜おぼりでのイベントの定期開催とあるが、かなり集客し難いところだろう。もう少し役場の関与も必要だと思う。	あり	I-2-(4)観光・交流の推進(p18～19)で「行政、団体、町民の協働による」と記載しており、団体と連携したイベントを検討していきます。
2		関谷委員長	書き方というよりは中身の話かと思うので検討いただきたい。	あり	
3	2(1)浪江駅周辺を核とした中心市街地整備	前司委員	浪江駅自体も、もっとおもしろおかしくできたらいいと思う。立ち食いそばじゃなくて、立ち食いなみえ焼そばとか。焼きそば弁当とか購入できるといいのではないかな。	あり	目指す姿と取組(p37)1つ目に「商業機能の活性化、にぎわいの回復等」と記載しています。立ち食いなみえ焼そばなどのアイデアは、具体的な施策・事業として検討するものと考えます。
4	2(3)交通網の充実	馬場委員	東京までの電車アクセスが不便とあるが、先日原町から東京にひたちに乗って行ったが誰も乗っていない。住民の利用率が低い現実もある。要望を通していくにももっと利用促進が必要だと思う。	あり	目指す姿と取組(p41)5つ目「少しずつ着実に町内の人口が増えており～人の往来も一層活発になります。」と記載しました。また7つ目で「JR常磐線の便数増～要望を継続します。」と記載しています。
5		関谷委員長	町外者の視点から言うと、夜間と朝の便が増えればもっと利用しやすくなると思う。	あり	目指す姿と取組(p41)7つ目に「JR常磐線の便数増～要望を継続します。」と記載しています。
6	2(3)交通網の充実	関谷委員長	F-REIができるまでに交通網が整備されないと結局南相馬などの方に住まわれてしまう。今後の人口増を見越してというのをどこか視点として入れておいてほしい。人が増えれば交通網も充実してくるので、増えていくことがわかっている地域にどう要望して整備していくのかという部分は、もう少し書き込んでもらってもいいかなと思う。	あり	目指す姿と取組(p41)5つ目を人口増、観光需要増、といった増加要因を書き込むように修正しました。
7	3(1)防災・安全の強化	葛西委員	成果指標で自主防災組織数があるが、自主防災組織という形式でなくとも、自主的にそういった活動をしているところも結構あるので組織をどうとらえるかが大事である。	あり	自主防災組織に捉われない、幅広い町民の防災意識や活動の活性化の測定は「防災訓練の参加者数」で測定します。
8	3(1)防災・安全の強化 3(2)防犯・防火・交通安全の強化	葛西委員	消防団について、そもそも人が少ないので、団員加入促進といって、本当にこれが伸ばせるのか再度検討する必要があると思う。	あり	目指す姿と取組(p43)5つ目、「企業と連携した災害時対応における体制構築」と記載しています。また、目指す姿と取組(p45)3つ目に「町内居住者・従業員の消防団加入促進」と記載しました。
9	3(1)防災・安全の強化 3(2)防犯・防火・交通安全の強化	関谷委員長	町に常設消防がなくて、消防団は火災時の初期消火対応が多分メインになるので、入らないから大変ではなく、入らないから何とかしなくてはならなくて、常設消防のないエリアが沢山あるところの課題なので、もう少し書き込んでいただけたらいいかなと思う。	あり	目指す姿と取組(p43)4つ目及び目指す姿と取組(p45)3つ目に「常備消防と消防団の連携により防災体制の強化を図ります」と記載しました。
10	4(1)ゼロカーボンシティの推進	前司委員	福島県が経済産業省の水素重点地域に選ばれて、今、東北では福島のみってということで経済産業省の方で補助金等々を入れて、水素の社会実現していくことが決まった。大型商用車向けの補助制度なども今後視野に入れていくといいのではないかな。	あり	目指す姿と取組(p47)3つ目に「水素社会実現の先駆けとなるまちづくりを産学官連携で推進します。」と記載しております。
11	4(1)ゼロカーボンシティの推進	青木委員	そもそもこの温室効果ガスの削減量の具体的な目標値は入れないのか。地球温暖化対策計画には具体的な数値が入っている。概要でもいいので、現状のところに記載があるといいと思った。浪江町に関してはもう達成しているので、どういうふうな書き方でアピールできるのかも検討いただきたい。	あり	二酸化炭素削減量の目標値(公共施設・事業者・住宅)を設定しています。

(基本方針Ⅳ)後期基本計画の施策・取組・成果指標に関する前回意見への対応整理表

No.	施策体系	発言者	意見概要	計画書への記載	計画書への反映の考え方
1	2(1)介護・福祉の充実	小林委員	取組の下段に広域連携により障害福祉に関する相談支援の窓口を設置、広域連携による障害福祉サービスの充実とあるが、これに児童福祉は含まれるのか「子育て環境の充実」の中に、新規で障害等で日常に生きづらさを感じる子供・若者とその家庭への支援があったが、これとの連携だと何か繋がりはあるのか。 相談窓口から実際にサービスに繋がるまでが大事だと思う	あり	目指す姿と取組(p53)、6つ目で「子ども、高齢者、障がい者などすべての人々が(中略)「地域共生社会」の実現に向け、地域での包括的な支援体制の構築を目指します。」と記載しています。
2	2(1)介護・福祉の充実	関谷委員長	成果指標の高齢者等の見守り数について、 個別避難計画とか要支援者名簿の関係もあるので、訪問回数とした方がいいかと思う 。	あり	成果指標の表記を「高齢者等の訪問回数」と変更しました。
3	3(1)放射線による健康不安への対策	木村委員	放射線による健康不安への対策の成果指標を設定しないということだが、例えば簡単なクイズ形式のようなアンケートを住民の方にやってもらって、理解度を見るようなものもあるのではないか 。おそらく一方的な情報伝達ばかりで、住民の皆さんがどの程度理解してきたのかという面で、きちんと評価したことはないのではないか。可能であればご検討いただきたい。	あり	D-シャトルの貸し出し数が減少していくことが放射線による健康不安が低減している成果となると考え、成果指標として「D-シャトルの貸し出し数」を設定します。
4	3(1)放射線による健康不安への対策	関谷委員長	D-シャトルとか空間線量計の貸出の件数自体は減っていて、ほとんどない状況。そこは既に不安が解消しているということだと思う。 それ自体が結構重要な指標になるのではないか	あり	
5	3(2)除染の推進による安全対策	関谷委員長	放射線と同様に、町民の不安が解消されたこと、 相談回数とか役場への問合せが無くなったこと自体が成果だと思う ので、何か見えるようにしていただいた方がいいと思う。	あり	
6	3(1)放射線による健康不安への対策	佐藤(秀)委員	D-シャトルの製造も終了すると聞いている。「継続」としていいのか確認した方がいいかと思う。	あり	D-シャトルの製造は終了となりますが、町で保有しているD-シャトルのメンテナンスは継続して委託できるため、貸し出しの継続には問題はありません。
7	3(1)放射線による健康不安への対策	小林委員	放射線による健康不安への対策に関して、町の移住窓口(ホームページ)には放射線に関する情報が出てこない。新規に移住や転入されてくる方に対して、そういった説明が一切無いようで、地域の皆さんに確認していいのかもわからないっていうような声が上がっているようだ。 新しく来られた方向けの、わかりやすい情報発信というのは続けていただいた方がいいと思う 。	あり	観光客や移住される方などを対象とした情報発信の取組として、目指す姿と取組(p55)4つ目に、町内の空間線量について、国内の主要都市の空間線量と併記して情報発信し、不安の解消に努める旨を記載しました。
8	3(1)放射線による健康不安への対策	関谷委員長	放射線量については一般の町民としては減ってるってことを前提としつつも、 情報発信を適切にしていかなければいけない というように両面あると思うので、それを踏まえて記述していただければと思う。		
9	3(1)放射線による健康不安への対策	関谷委員長	やはり指標自体は必要だと思う。 移住される方への情報発信(回数)にも意味はある だろうし、中にいる人が意識しなくなってきたっていうところも目標と考えてもいいのではないか。達成度で言えば、 町民の健康への不安や放射線への不安の解消ということをきちんと表す ことになるのではないか。		
10	3(1)放射線による健康不安への対策	前司委員	放射線の方は多分これからもずっとやっていかなければいけない。浪江町は帰還困難区域を背負っているので、 基準値を超えるものがでる限りは情報発信を続けていかなければいけないのではないか 。	あり	食品検査による検査結果については引き続き情報発信を継続します。
11	3(2)除染の推進による安全対策	半谷委員	搬出が完了した仮置き場の原状回復と地権者への返還とあるが、現状、返還後の利用計画が決まっているとか、そういうことではないのか。例えば農地の原状回復といっても、環境省側の判断したところの状況で後は農水省の事業でやってくれと言われたが、営農再開支援事業などではとても無理だったというレベルのケースもあった。町の方でもある程度の管理をしっかりやってもらわないと、後の利用が大変になる場合もあると思う。	あり	目指す姿と取組(p57)3つ目で「返還後の土地利用計画に影響しないよう」と記載しています。
12	3(2)除染の推進による安全対策	関谷委員長	仮置場数ではなく、仮置場削減数のようにし、どれだけ減ったかを成果指標にした方がいい だろうし、仮置き場数自体が町民の除染に対する不安解消には繋がらないような気もする。そういう意味では、 除染した後の検証委員会の開催数といった方が、除染が適切であったかの検証になる だろう。また、町民の除染に対する不安解消というのも見直した方がいいのではないか。	あり	町民の不安解消、という観点では除染検証委員会の開催数よりも仮置場が無くなる方が不安が解消され则认为っており、成果指標は継続したいと考えています。 施策のアウトカムは「除染等を着実に推進し、不安解消に取り組みます」に変更します。

(基本方針Ⅴ)後期基本計画の施策・取組・成果指標に関する前回意見への対応整理表

No.	施策体系	発言者	意見概要	計画書への記載	計画書への反映の考え方
1	2(1)移住・定住の推進	木村委員	成果指標に 多言語化対応施設数 とあるが、 大事なのはカバー率ではないだろうか 。本来、多言語化対応すべき施設数があって、そのうち何%が多言語化対応できるようになったのかという方が、その後の取組の改善にも繋がるのではないかと。	なし	成果指標「多言語化対応施設数」は公共施設を想定します。民間施設の多言語化など、町内全体でのカバー率については、現在目まぐるしく民間施設等の整備が進められており、全体数を捉える事が難しい状況です。まずは多言語化対応を行政が率先するという観点から対応施設数とさせていただきながら、今後見直しの段階で町の状況を踏まえながら検討していきます。
2	2(1)移住・定住の推進	葛西委員	移住者数について、町に移住してくる人をただ増やせばいいのではなくて、 移住した後の定住、定着するということも大事だと思 う。定着の定義もまた難しいが、結構他の町では、移ってきて、またすぐに出ていってしまう方もお見受けする。	あり	目指す姿と取組(p65)3つ目に「移住者同士、町民同士の交流会などを通じて定住を支援します。」と記載しています。
3	2(1)移住・定住の推進	小林委員	移住してくる方々と話をすると、 移住後のフォローが薄い という話を聞くので、交流会だけではなく、 個別のお困り事だとか、魅力を感じた点だとか、そういう声を拾い集めていくこと で、定住数の確保に繋がっていくのではないかと。	あり	
4	2(1)移住・定住の推進	関谷委員長	移住数と定住数は異なる指標だと思 う。入ってくれる人を増やすのもそれはそれで意味があり、かつ定着してくれる人を増やすというのも別の意味があると思う。区別して整理した方がいいだろう。	なし	成果指標としては移住者数とします。定住要因の分析については引き続き検討します。
5	2(1)移住・定住の推進	小林委員	観光交流の推進として、そこで町の魅力の発信をしていくところとか、関連する取組を進めていった先に移住があると思 うので、 そことの連携、繋がりがもう少し見えるといい と思った。	あり	目指す姿と取組(p65)3つ目に「暮らしや観光に関する情報、支援メニューなどの積極的な発信」と記載しました。
6	2(1)移住・定住の推進	小林委員	移住層のターゲットを町としてどう考えるのか。家族層なのか、単身層なのか、もっと上の世代の方々なのかで、アプローチが全然変わってくるかと思う。	なし	居住人口は震災時の1割程度とまだ少ない状況にあり、後期計画の5年間では前期同様にターゲットを絞らず広くアプローチしていく必要があると考えています。
7	2(1)移住・定住の推進	関谷委員長	移住だったら移住に繋げるのがアウトカムではなくて、移住して生活の満足度を上げるのがアウトカムになるはず 。	あり	移住後の生活の満足度向上は他の施策も含むため、この移住・定住施策の成果指標としては、移住者数としつつ、定着に向けた取組として、移住者同士や町民同士の交流会などを記載しました。
8	3(1)地域コミュニティ活動の推進	関谷委員長	地域コミュニティは行政区を見直してよりよい生活しやすい環境を整えることがアウトカムではないか 。	あり	目指す姿と取組(p67)2つ目に「町内で生活される方の利便性向上」と記載しました。
9	3(1)地域コミュニティ活動の推進	佐藤(秀)委員	新しく入ってきた方が、自分がどこの 行政区 なのかという問い合わせが結構ある。そもそも震災以前から、こういう線引きが不明確だったこともあり、何か 線引きしていくべき段階にきていると思 う。	あり	現状と課題(p66)1つ目に「行政区の境が不明確」「集合住宅などの居住者の把握ができない」といった課題を記載しました。
10	3(1)地域コミュニティ活動の推進	関谷委員長	施策の取組としては、広い意味で、このあり方を見直すということを含めて議論して欲しいというところだと思う。	あり	
11	3(1)地域コミュニティ活動の推進	鈴木委員	行政区の中にアパートがたくさん建ってきているが、そこに住んでる人も地域の中で生活しているわけなので、そういうところの把握もやらないといけないが行政区では難しい。その辺のところも何か今後検討していく必要があると思う。	あり	
12	3(1)地域コミュニティ活動の推進	関谷委員長	住民票を持たずとも、実態として町に居住している人の把握についても考えていく必要がある。	あり	
13	3(1)地域コミュニティ活動の推進	関谷委員長	地域コミュニティのところは、方向性の検討ではなく「どうするかを考える」というところをもう少し明確にさせていただいた方がいいと思うし、実際に移住されてる方をはじめ、住民が戻ってきている中で、きちんと検討いただくことが必要だと思う。	あり	目指す姿と取組(p67)2つ目に、行政として「今後の行政区のあり方について、地域で話し合う場づくりを働きかけ、支援する」と記載しました。